

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和8年3月7日

事業所名：多機能型事業所 キートス・ビート

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 意見 (工夫している点、課題など) | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|--|--|----|--------------------------|---|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7 | 1 | 運動スペースは確保できているが、利用日によっては個室スペースが手狭になる場合がある。人数が多い時には狭く感じるが、子ども同士の接触がないように、子どもの位置をみてスタッフの配置を考えている。 | 利用人数や、学年、課題によって、運動の内容を考えている。子どもの人数によって、スタッフが配を配置をする工夫を継続する。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 7 | 1 | もう1人スタッフがいると助かる場面あり。通常は適切に感じる。利用者が定員になった際には対応が難しいと感じる事がある。職員の休みが重なった時など厳しい時がある。 | 現在スタッフ募集中。 採用を進め余裕のある人員配置を目指す。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 8 | 0 | unnecessary 掲示物を減らした。 未就学児用に、補助便座があれば尚良い。 送迎前には子ども達の情報共有をしている。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 8 | 0 | 手洗い用の踏み台があると良い。 | |
| 業務 改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 8 | 0 | 事業所責任者を中心に実施している。 | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 8 | 0 | 今回評価は初めてだが、意向を把握する努力をしている。 | |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 8 | 0 | | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 2 | 6 | 外部評価を行っていない。 | 外部の評価は実施なし。 毎月のミーティングで同法人内の他事業所のスタッフとも話し合いをし、第三者の意見も取り入れ業務改善につなげている。 |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 8 | 0 | | |
| 適切な 支援の 提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 8 | 0 | | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 7 | 1 | | スタッフ間で共有できるように工夫していく。 |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 8 | 0 | | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 8 | 0 | モニタリング後の共有が増えることで、より子ども達の情報が理解でき、支援の質の向上が期待出来る。 | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 7 | 1 | 苦手な動きや保護者様のニーズに対応している。 | 運動中の事故・怪我のマネジメントをしながら、安全な活動となるようにスタッフ全員でプログラムの立案をしている。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 8 | 0 | スタッフ間でシミュレーションし、安全が確保できた状態で新しい活動にも挑戦している。 | |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 8 | 0 | | |
| 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 8 | 0 | 朝礼時に当日の共有をスタッフ全員で実施している。 | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 意見 (工夫している点、課題など) | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---|---|----|-----|---|--|
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 8 | 0 | 朝礼時に前日の活動の振り返りも実施中。 記憶が新しい内に、前日の振り返りをしている。 | |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 8 | 0 | | |
| | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 8 | 0 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 8 | 0 | | |
| | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 4 | 4 | | 必要な時に対応する。 |
| | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 3 | 5 | 対象者がいない。 | 現在医療的ケアが必要な子どもはいないが、受け入れる際は連絡体制を整える。 |
| | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 2 | 6 | 対象者がいない。 関係機関との連携が必要である。 | 現在医療的ケアが必要な子どもはいないが、受け入れる際は連絡体制を整える。 |
| | 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 3 | 5 | もっと協力を行う必要がある。 | 保育所などには送迎時に情報共有をしている。 また相談員を通じて連携をとっている。 今後も継続して関係機関との連携を図る。 |
| | 26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 2 | 6 | | |
| | 27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 5 | 3 | 研修を受けている。 | |
| | 28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 2 | 6 | | 機会があれば研修等を共有し、参加を促していく。 |
| | 29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 2 | 6 | | |
| | 30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 8 | 0 | 送迎時に子ども達の様子を伝達している。 送迎時に保護者様から共有頂く事も多い。 送迎時に、保護者との会話を大切にしている。 | |
| 31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 2 | 6 | | 今後、検討していく。 | |
| 保護者への説明責任等 | 32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 8 | 0 | | |
| | 33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 8 | 0 | | |
| | 34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 8 | 0 | | |
| | 35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 1 | 7 | 今後実施していく必要がある。 今後取り入れていきたい。 保護者会は開催していない。 | 今後、検討していく。 |
| | 36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 8 | 0 | | |
| | 37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 7 | 1 | SNS(インスタグラム)で活動公開をしている。 活動中の様子や行事案内を個別連絡している。 | 今後もSNS(インスタグラム)や個別連絡で発信していく。 |
| | 38 個人情報の取扱いに十分注意している | 8 | 0 | | |
| | 39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 8 | 0 | | |
| 40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 1 | 7 | | | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 意見 (工夫している点、課題など) | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---------|---|----|-----|-----------------------------------|--|
| 非常時等の対応 | 41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 8 | 0 | | |
| | 42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 8 | 0 | | |
| | 43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 7 | 1 | | |
| | 44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 6 | 2 | クッキング等で使う食材の成分表示は保護者に確認をとり使用している。 | |
| | 45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 7 | 1 | | ヒヤリハットとなる事案の程度について、発生時に適宜確認をする。 その後事例報告書を作成し、スタッフに共有する。 |
| | 46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 8 | 0 | | |
| | 47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 7 | 1 | | |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。